

健康あきしま21(第2次)計画素案に係る意見について

No.	該当ページ	該当項目	意見の要旨	市の考え方
1	75	現状	東京都では、平成23年に示された歯科保健目標「いい歯東京」の評価を行い、それに基づき、平成28年度からの歯科保健目標「いい歯東京(第2次)」を定めるとお聞きしています。歯科からの健康づくりに向け、こうした記載が必要ではないでしょうか。	「いい歯東京」は平成26年度に実施された達成度調査の報告書において、目標期間を平成29年度まで延長することが明らかとされました。こうしたことから、「いい歯東京」につきましては、計画策定の基礎資料とさせていただきますが、本文への書き込みは行わなかったものです。
2			最初の分掌を次のとおり修正してはいかがでしょうか ○歯と口腔には「噛む」「味わう」「飲み込む」「会話をする」「表情をつくる」などの大切な役割があります。	ご意見を踏まえ、以下のように変更いたします。 ○歯と口腔には「呼吸をする」「食べる(噛む、味わう、飲み込む)」「会話をする」「表情をつくる」などの大切な役割があります。
3			「歯周疾患」よりも「歯周病」という言葉が一般的になっています。こうしたことから、12歳児における「歯周疾患」「歯周疾患要観察者」や「昭島市歯周疾患検診結果」の文言は、修正した方がよいのではないのでしょうか。	「歯周病」という言葉が一般的になってきていることは認識しており、計画においても、現状の最後の項目では、「歯周病」を使用しております。ご指摘の用語は、計画において、統計書の記載項目や報告書の名称など、固有名詞として使われているものであり、修正することは適切でないものと考えます。
4			口腔癌について記載が必要と考えます。以下の文章を追加しはいかがでしょう。 ○口腔がんの発生頻度は、がん全体の1～3%で決して多くないものの、口腔がんで亡くなる方が増加傾向にあります。	ご意見を踏まえ、以下のように追加いたします ○口腔がんや咽頭がんで亡くなる方は、国内で年間7千人を超えています。がんによる死亡数の2%程度を占めており、決して多いとはいえませんが、罹患率や死亡率は、増加傾向にあります。
5	78	施策目標	以下の文章に訂正してはいかがでしょう。 ○生涯にわたって自分の歯で食べるために、歯と口腔の健康づくりを進めます。	ご意見を踏まえ、以下のように変更いたします。 ○生涯にわたって豊かな生活を送るために、歯と口腔の健康づくりを進めます。
6	79	施策の方向性 (2) 小児の歯科保健の充実③	フッ化物配合の歯磨き剤の活用に関し、「エビデンスが確立している」という言葉は適切でしょうか。	フッ化物の応用については、厚生労働科学研究「フッ化物応用の総合的研究」班より、う蝕予防のための3つのマニュアルが出版されており、効果が実証されています。しかしながら、専門的な用語であり、様々な意見もございます。こうしたことから、以下のように修正します。 「また、その効用が確認されているフッ化物配合の歯磨き剤の活用などについて、」